



陳 情 書

令和7年8月18日

霧島市議会議長 仮屋 国治 殿

陳情者 住所 霧島市国分 [REDACTED]
霧島子どもの未来を守る会 [REDACTED]
代表 岡元 ルミ子 [REDACTED]
霧島オーガニック給食推進協議会 [REDACTED]
代表 岩元 保代 [REDACTED]

「有機給食の日」の導入と給食コーディネーターの配置を求める陳情書

陳情事項

- 1、学校給食での有機農産物等の利用や食育活動を行う「有機給食の日（仮称）」を創設し、子どもたちが有機野菜や環境・健康との関わりについて学ぶ機会を創出すること。
- 2、学校給食の現場における学校、栄養士、調理員、地域農家、行政など多様な関係者の連携を強化し、食育の推進を図るため、「給食コーディネーター」の配置を検討すること。

陳情の理由・経緯等

私たち「霧島子どもの未来を守る会」（令和4年9月発足）および「霧島オーガニック給食推進協議会」（令和5年2月発足）では、保護者や農業従事者、栄養士と共に勉強会や上映会、講演会など、毎月継続的に行って、子どもたちの「食」や「環境」への理解を深める活動を継続しています。

今年、米価高騰や農業政策の転換、気候変動などの社会情勢を背景に、食の安全への関心が一層注目されています。このような状況において、学校給食は子どもたちが「食べること」の重要性だけでなく、「地域とのつながり」や「環境・健康とのつながり」を学ぶ貴重な機会です。

国も12月8日を「有機農業の日」と定め、有機農業や持続可能な農の意義を社会全体で考える機会とし、推奨しております。霧島市でも有機農業が盛んである地域特性を活かし、学校給食にて「有機給食の日（仮称）」を年1回でも設けることで、子どもたちの自然の恵みに感謝する心育み、環境に配

慮した持続可能な消費行動へとつながるような食育の推進に資すると考えます。

さらに、有機農産物等の一層の活用や食育活動を協議に推進するためには、学校・栄養士・地域農家・行政など関係者をつなぐ調整役が重要であるため「給食コーディネーター」の配置を、ぜひ検討していただきたく要望致します。

以上、陳情事項についてご高配を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。